



朝晩が涼しくなり、日中もさわやかな秋風が気持ち良く感じる季節となりました。

過ごしやすくなったこともあり、毎日よく食べ、よく動き、よくあそび、毎日元気に楽しんでいる子ども達です。天気の良い日には、散歩に出かけて、秋の自然を見たり触れたりしながら、いろいろな発見をして楽しく過ごしていきたいと思います。



ひよこぐみ(0歳児)

園庭の地面の砂を握り取ってはパツと手を開いて、砂がさらさらと落ちていく様子を見たり、砂の感触を味わうと声を発したりする姿があります。茶わんの中の砂をスコップですくうと保育者の方に差し出し、食べさせてくれようとした後に、自分も食べる真似をして楽しんでいます。

いすぐみ(1歳児)

広告や新聞紙を破いたり、握って丸めたりと紙の感触を味わいながら手先を使って遊んでいます。また、破れた紙片を集めて積木で囲い、紙のプールを作ると、足から飛び込んで入ったり、寝転がって上から降ってくる紙片を浴びて喜んだりして楽しむ姿があります。広告紙を巻いて棒状にしたものの先端にひらひらした紙を付けてホウキができると、気に入って持ち歩いたり、落ちていた紙片をはいたりして遊んでいます。

うさぎぐみ(2歳児)

広告紙を引っ張って破る感覚を味わったり、巻いて棒状にしたものを折り曲げてトングに見立ててあそんだりします。食べもの玩具をはさみ取る動作を楽しみ、「できたよ!!」と嬉しそうに見せてくれる子どもの姿があります。一つ一つを丁寧にはさんで、箱の中に入れることをくり返してできる喜びを味わいながらあそんでいます。

バケツや容器に砂をたっぷり入れてから、ひっくり返してケーキを作り、そこに摘み取った草やねこじゃらしを挿し込んで誕生日ケーキに見立てると「おめでとう」の歌をうたって遊んでいます。小枝を挿してパンパンと手を叩いて、しばらくの間、「おめでとう」の歌をうたっている子どもの姿もあり、とても可愛い姿がみられます。



散歩を通して、秋の自然に触れて遊びたいと思います。

